

平成20年7月21日発行

## 東神楽が3年連続4度目、中富良野が2年連続18度目の上代へ 平成20年度中央地区、富良野地区中連サッカー大会

平成20年度中央地区中連サッカー大会は、7月3日、4日に上川中を会場に行われました。決勝は東神楽中と美瑛中の対戦となりましたが、近年中央地区で力をつけている東神楽中が2対0で美瑛中をくだし、3年連続4度目の優勝を果たしました。また、富良野地区中連サッカー大会は7月8日富良野東中学校で行われ、中富良野中が上富良野中を2対1で破り、2年連続18度目の上川代表決定戦への切符を手に入れました。

### 中央地区

#### 1回戦

#### 当麻 8 - 0 (4 - 0) 上川

当麻のkick offで始まった1回戦、立ち上がりから当麻が主導権を握る。右サイドから攻撃の形をつくり、5分 大家梨緒からのクロスに 樋田が合わせ、先制点をとる。勢いに乗った当麻は、6分にまたも 樋田、10分 大家智希がゴールを奪う。上川も徐々に堅さがたれ、DFラインを整え、カウンターからの攻撃をしかけるが、なかなかシュートまでいけな。20分、それまで右サイドからチャンスを演出していた 大家梨緒がPA内までドリブルで切り込み、試合を決定づける4点目を上げる。

後半も当麻ペースで試合が進むが、上川 古川や 高畑がよく声をかけ、粘るDFでなかなか得点を与えない。40分すぎから疲れを見せ始めた上川DFから3点を奪う。56分、松浦が退き、10vs10になった上川に何度かチャンスがおとずれも、タイムアップ。当麻が初戦を飾った。

#### 東神楽 6 - 0 (3 - 0) 鷹栖

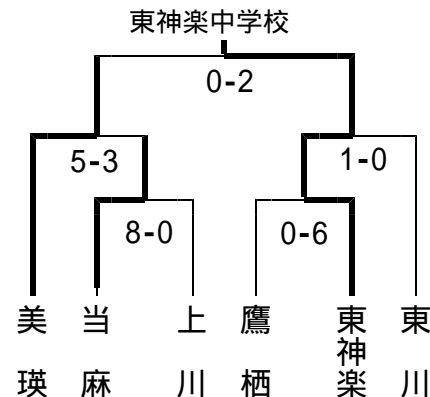
11時にキックオフ。東神楽がやや有利に進めるが、互いに譲らない攻防が続く。前半12分、東神楽 朝日が得点。その後、東神楽ペースとなる。東神楽 杉原が15分、22分に得点。ロスタイムは約2分で、前半終了。0 - 3 (東神楽)

11時41分後半開始。東神楽のペースで試合が始まる。後半4分、東神楽 安達がゴール前の混乱の中で得点。だんだん東神楽の一方的なペースになる。9分、東神楽 朝日が得点。10分過ぎ、東神楽 丸一がケガで一時退場(後に復帰)。17分、木村のアシストで 山川が得点。鷹栖も 安達、西山を中心にディフェンス、加茂、石川をターゲットにカウンターを狙うが、東神楽DFに阻止される。鷹栖もあきらめずに戦ったが、力及ばず、0 - 6で東神楽の勝利!

#### 準決勝

#### 美瑛 5 - 3 (5 - 0) 当麻

前半、美瑛中のキックオフで試合開始。美瑛中の 金刺のスピードを生かした攻撃で、当麻中にせまる。前半3分に 金刺がペナルティーエリア中央でボールを受け、冷静にシュートをし、得点。美瑛中は、浦島が右サイドからスピードを生かしたドリブルからクロスを何度かあげるが、当麻中 大家が体を張って守る。美瑛中は、中盤でボールを回し、抜け出した 金刺がペナルティーエリアにパス。それを 福原が冷静にゴールし、2点目。21分には、美瑛 廣瀬のハーフラインからのフリーキックが直接ゴールし、3点目。22分には、中央からのパスを 福原が抜け出し、キーパーをかわし、これで4点目のゴール。24分には 金刺がスピードにのったドリブルからシュートし、ゴール、5点目。当麻中は、菊地にボールを集め攻撃をねらうが、美瑛中の 廣瀬を中心としたDFラインがしっかりと守り、攻撃をゆるさない。前半は美瑛中のペースで試合が進んだ。後半、当麻中のキックオフで試合開始。9分、当麻中 大家のロングシュートがゴール



し、1点目。後半は、両チーム譲らない。16分、当麻中 大家のロングシュートが、ゴールに入り、2点目。18分、当麻中の相手ペナルティーエリア内で細かいパスと 大家のテクニックで 大家のシュートがゴール。これで大家はハットトリック。この後も当麻中の攻撃が続くが、惜しくも試合終了。準決勝第1試合は、美瑛中が5 - 3で勝利し、決勝に進んだ。

#### 東神楽 1 - 0 (0 - 0) 東川

東神楽中のキックオフで試合開始、序盤は両チームとも中盤の主導権を譲らない。前半中盤あたりから、東神楽がリズムをつくるが、東川も 江添を中心としたDFラインが攻撃を許さない。超チームともしっかりとディフェンスで、前半は0 - 0。

東川のキックオフで後半開始。東神楽は 宮腰を中心に攻撃を組み立て、鳥毛がシュート。しかし、東川GK斎藤が、ファインプレーで防ぐ。45分、東神楽は右サイドからのクロスで 木村が合わせシュート。これをまた東川のGK斎藤がファインセーブで防ぐ。55分、東神楽のコーナーキックを 宮腰がヘディングシュートし、ゴール。東神楽が先制。その後も東神楽の攻勢が続く。東川も攻撃をするが、タイムアップ。準決勝2試合目は、東神楽が1 - 0で勝利。

#### 決勝

#### 東神楽 2 - 0 (1 - 0) 美瑛

東神楽のキックオフで前半開始。ゲーム序盤、両チームとも中盤からつなぎ、スピードを生かしたサイド攻撃を繰り返す。美瑛は 金刺と 福原のスピードを生かして、相手ゴールに攻め込む。負けじと東神楽も 宮腰を中心とした攻撃陣がゴールに攻め込む。13分、東神楽 宮腰が抜け出しシュート。これを美瑛GK畠がファインセーブでゴールを守る。23分、東神楽中のコーナーキック。このコーナーキックを 東が頭で合わせ、先制。前半終盤、美瑛も相手ゴールに攻め込むが得点できず、1 - 0で東神楽がリードし、前半は終了した。

美瑛のキックオフで後半開始。開始直後、美瑛はコーナーキックのチャンス。しかし、ゴールは奪えず。東神楽も美瑛ゴールを襲うが、GK 畠とDF 廣瀬を中心に、攻撃を跳ね返す。ゲーム中盤、東神楽のリズムで試合が進む。宮腰と交代して入った 木村がチャンスをつくる。美瑛も 金刺がスピードを生かしたドリブルで、相手ゴールに攻め込む。56分、東神楽が中央からサイドの 杉原にパス。杉原はドリブルし、クロスを上上げる。美瑛DFがクリアしたボールを東神楽 安達がシュート。ゴールし、2点目を追加。終盤、美瑛も 金刺を中心に攻め込むが、得点できず、試合終了。東神楽が2 - 0で勝利し、優勝した。東神楽の総力の厚さが際立った試合であった。

### 富良野地区

#### 1回戦

#### 中富良野 3 - 0 (2 - 0) 富良野東

得点者 斉藤(6分, 21分), 中川(51分)(中)

#### 上富良野 4 - 2 (0 - 1) 富良野西

得点者 林(32分), 畑中(46分), 柴田(49分), 三瀬(59分)(上)  
西原(8分, 59分)(富)

#### 決勝

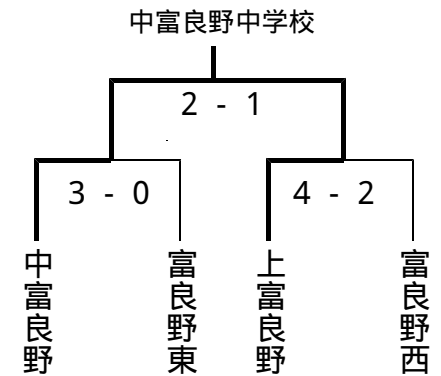
#### 中富良野 2 - 1 (1 - 0) 上富良野

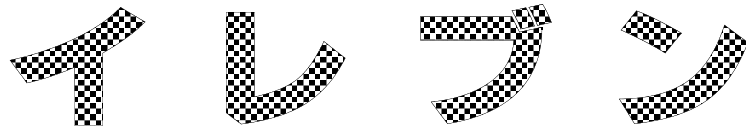
得点者 斉藤(5分, 31分)(中) 畑中(37分)(上)

開始直後から中富良野は斉藤にボールを集めチャンスを迎えるが、上富良野GK佐々木の判断良い飛び出してピンチを切り抜ける。しかし、5分中富良野斉藤に縦パスが入り、ハーフライン近くから左サイドを持ち込みシュート、ゴールポストに当たりゴールとなる。上富良野は6分岩澤がシュートを打つがゴール上に外れる。17分にも上富良野畑中がドリブルで3人がわしてシュートするも中富良野松田がクリアでゴールならずは前半は1対0で終了する。

後半開始直後、中富良野中田とのパスで斉藤が抜け出しドリブルして、左足でシュートを決める。37分上富良野は前線にパスに畑中が反応しGKの頭上を抜いてゴールを決める。41分には、上富良野がDFウラへのパスを中富良野GK工藤がクリアしてピンチをしのごく。逆に43分中富良野は斉藤が持ち込みGKをかわすも、上富良野はDF岩男が防ぐ。最後まで一進一退の攻防が展開されたが、2対1で中富良野が逃げ切った最優秀選手 斉藤 一也(中富良野中学校3年)

優秀選手 松田 武士(中富良野中学校3年) 柴田 力也(中富良野中学校3年)  
増子 周作(富良野東中学校3年) 柳部 大介(富良野西中学校3年)





平成20年7月21日発行

## 啓北中が13年ぶり3度目の全道大会出場! 上川支庁代表決定戦

平成20年度上川代表決定戦は、7月17日名寄健康の森陸上競技場で決勝が行われました。決勝は旭川市中連優勝の広陵中とイレブン杯優勝の啓北中の対戦となりました。雨が降る中、1点を争う試合となりましたが、啓北中が17分相手のオウンゴールで先制。その1点を守りきり、13年ぶり3度目の全道大会出場を決めました。優勝した啓北中は8月2日から空知管内で行われる、北海道大会に出場します。

### 決勝 啓北 1 - 0 ( 1 - 0 ) 広陵

得点者 0・G (17分) (啓)

警告 藤原, 山内 (啓)

啓 北 GK永井 DF酒井, 高橋峻, 茂木, 干場 MF藤村, 保田, 山内, 西根  
FW藤原, 笠原 交代/FP斉藤

広 陵 GK喜多 DF水野, 高橋, 大沼, 深川 MF伊藤翔, 富樫, 松岡, 田中  
FW吉田, 小野 交代/FP朝光, 斉藤

主審/西川 (永山南) 副審/飛世 (東明), 柴田 (北星) 第4審/宮川 (永山南)

【戦評/宮越 (永山南)】

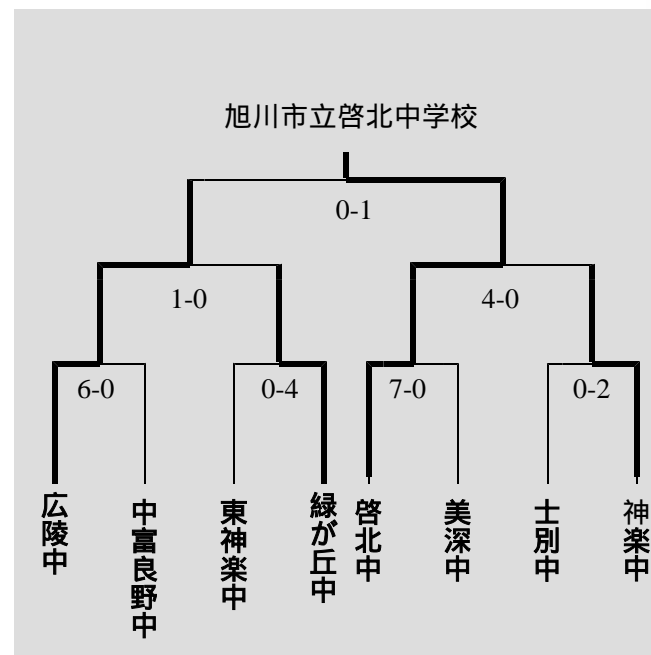
旭川市大会優勝の広陵とカブスリーグに参戦している啓北の対戦となった決勝。旭川市大会と同一カードとなった準決勝では、広陵が緑が丘に押し込まれながらも1対0で勝ち、啓北は神楽に4対0でリベンジを果たし快勝。今年度の上川代表を決めるに相応しい対戦となった。開始5分センターサークル内でFKを得た広陵は、DF深川が思い切ってファーストシュートを放つが、GK永井の正面をつく。9分啓北は中盤での巧みなパスワークから右サイドに展開。MF藤村がフリーでセンタリングをあげるが、GK喜多がキャッチする。14分啓北はピッチ中央でFKを得る。酒井のFKに高橋峻が頭で合わすがゴール左に外れる。直後広陵は富樫が左サイドをドリブル突破。シュートまでには至らなかったものの啓北DFを慌てさせる。17分啓北が先制する。右サイドからDF酒井が広陵ゴール前にクロスボールを入れると、雨でスリッピーなボールはオウンゴールを生み出し、ボールはゴールの中に。広陵は高橋, 田中, 伊藤翔のドリブルやパスから、富樫, 小野が相手の背後への飛び出しに合わせようと積極的な攻撃。一方啓北は山内のドリブルに藤原がからみ、逆サイドを酒井がオーバーラップしながら全体をビルドアップ。一進一退の時間が続く。29分広陵は右サイドから高橋が低い弾道のクロス。吉田, 小野がつかめ決定的なチャンスを得るが吉田がGK永井と交錯。ファウルとなり得点ならず、前半は啓北が1点をリードし折り返す。

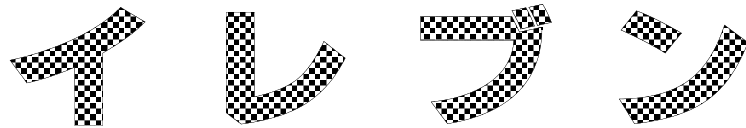


雨足が強くなる中、後半が開始。山内, 酒井のドリブルや中距離のパスを効果的につなぎ、啓北がやや優勢に試合を進める。39分右サイドからの酒井のクロスにDF茂木がヘディングシュート。40分には山内がゴールほぼ正面からフリーでシュート。残念ながら両方とも枠をとらえきれない。広陵の足が止まり始め、次第に啓北のボール支配率が高まる。46分右サイドからのFKを酒井がGKの位置のずれを見逃さず直接ねらうが、喜多がころうじてはじきCKに逃れる。これは広陵DFが高い打点のヘッドでクリアする。49分広陵はMF斉藤がDF裏に飛び出す富樫に絶妙のスルーパスを送るが、啓北高橋峻がスライディングでクリアする。53分広陵は大沼を中盤にあげ反撃を試みるが、決定機を作れないままタイムアップ。啓北が13年ぶり3度目の全道への出場権を獲得した。



13年ぶり3度目の全道大会出場を決めた旭川市立啓北中学校





平成20年7月21日発行

## 広陵と啓北で全道をかけて決勝対決！ 上川支庁代表決定戦

平成20年度上川代表決定戦は7月17日、名寄健康の森グラウンドで準決勝2試合が行われました。陸上競技場で行われた啓北と神楽は、啓北が序盤から神楽のDFラインを突破し、12分までに3点を奪う展開。神楽の攻撃を抑え込み、55分にも駄目押しの加点。4対0の快勝で決勝に駒を進めました。

Bコートで行われた緑が丘対広陵は、広陵が前半6分得意のセットプレーから先制。その後は緑が丘の猛攻にさらされましたが、深川を中心とした守備陣が踏ん張り1対0の勝利。旭川市大会に続いての決勝進出を果たしました。

### 準決勝

#### 啓北4 - 0 (3 - 0) 神楽

得点者 酒井(8分)、山内(9分)、西根(12分)、0・G(55分)

啓北 GK永井 DF酒井、高橋峻、茂木、干場 MF斉藤、保田、山内、西根

FW藤原、笠原 交代/GK長堀 FP藤村、高橋拓、新井

神楽 GK田中館 DF小澤、小林、東、上野 MF綿谷、斉藤、首藤、石川

FW川上、田畑 交代/FP角田、小川

主審/矢吹(協会) 副審/嵯峨(北門)、大西(附属) 第4審/村上(永山)

準決勝はともに旭川地区の準決勝と同一カードとなった。昨日の土別との試合でDF寺林とMF谷口が負傷した神楽は、FWの小澤をDFに入れ、左MFに綿谷を入れて臨む。

準々決勝の美深戦で右サイドから再三好機を作り出した酒井の攻め上がりによりどう対応するかがポイントとなりそうである。啓北のキックオフで始まった試合はMF藤村が出したスルーパスに酒井がDFラインの裏のスペースまでオーバーラップしシュートを放つ。この直後、啓北は酒井と斉藤をポジションチェンジする。ここから啓北の猛攻が始まる。8分啓北はDFからのロングフィードが神楽DFの裏にこぼれたところを酒井が走り込み、GKの飛び出しを見極めてゴールに流し込み先制点をあげる。続く9分、酒井から神楽守備陣の間を抜けるスルーパスが出る。このパスに反応した山内が巧みなステップで神楽DF、GKを次々とかわし、無人のゴールにシュートを決める。勢いにのった啓北は12分中盤でボールをキープした笠原が藤原にパス。藤原が左サイドからのアーリークロスを送ると、西根がトラップしてゴール右に決め3点目を奪う。攻撃の手を緩めない啓北は酒井、山内が雨でスリッピーなグラウンドにもかかわらず正確にボールをコントロールしゲームを支配する。

後半一矢を報いたい神楽は、右サイド石川を走らせ反撃を試みるが、啓北藤原のマークを振り切れない。38分神楽は斉藤からのスルーパスを石川がDFラインの裏に走り込んで



シュートを放つがGK永井の正面につきゴールには至らない。39分啓北は神楽DFのクリアミスを手がかり、ドリブルで抜け出して左足で強烈なシュートを放つがゴール右ポストにはじかれる。40分神楽はハーフウェー付近で田畑が倒されて得たFKを山内が右サイドに深く入った高橋峻にロングパス。このボールを高橋峻が落とし、藤原がセンタリング、西根がヘディングシュートを放つがゴール右へ外れる。一進一退の攻防となるが、啓北はMF保田が中盤の底からボールを左右に散らし、神楽の反撃を抑える。55分啓北は左CKを酒井がニアポストに蹴りこみ高橋峻が狙い走り込む。高橋峻と競りつて神楽DFがクリアしようとするがオウンゴールとなる。終了間際神楽は首藤から右サイドの石川へパスが渡り、石川が懸命にクロスを入れるが、高橋峻がヘディングでクリアしシュートチャンスを作れない。試合はこのまま終了。旭川地区の雪辱を果たし、啓北が決勝に進んだ。

### 広陵1 - 0 (1 - 0) 緑が丘

得点者 高橋(6分)(広)

広陵 GK喜多 DF水野、高橋、大沼、深川 MF伊藤翔、朝光、松岡、田中 FW富樫、小野 交代/FP吉田

緑が丘 GK青田 DF千葉峻、中島、小野、太田 MF佐藤力、近江、猪川、田端 FW荒川翔、宮下 交代/FP豊田

主審/五十嵐(道北協会) 副審/南向(春光台)、佐藤(光陽) 第4審/森(忠和)

【戦評/鈴木(愛宕)】

昨年度の上川代表決定戦準決勝でも当たった緑が丘と広陵の対戦。春季リーグでは0対0のドロー。旭川市中連では延長の末1対0で広陵が勝利を収めるといった接戦を繰り広げた両校だけに1点を争う試合が予想された。序盤互いに速いプレスでボールの奪い合いが続く。最初にチャンスが訪れたのは緑が丘。2分右CKをニアで合わせるが、GKがジャンプしてキャッチする。6分今度は広陵が右CKを得る。大沼が左足で精度の高いボールをファーへ。高橋がこれをヘッドで決めて先制点をあげる。続く9分、今度は左CK。スリッピーなピッチでバウンドが代わり、DFの間を抜けチャンスとなるがGK青田が落ち着いてキャッチする。速い時間で追いつきたい緑が丘だが、雨が強まりボールコントロール、パスワークにずれが生じ、思ったようにプレーができない。16分緑が丘は右CK佐藤がボレーで合わせるが、GK喜多がすんでのところからキャッチする。広陵は相手CKからカウンターで小野が右サイドを持ち上がり中へ折り返し、田中が右足でシュートするがGK青田の正面をつく。20分広陵はゴール正面30mの位置でのFKを得る。松岡が壁の脇を抜ける低いボールで狙うが、DFの足にあたりゴールならない。25分過ぎ、広陵DFラインを崩せず、ここまでいい形を作ることできなかった緑が丘だが、宮下が遠目からシュートを狙う。しかし、広陵守備陣がしっかりとコースを切り、枠をとらえさせない。

後半開始早々から緑が丘の選手

の激しいプレーが見られる。

中盤での速いパス回しからサイ

ドのスペースを使う攻撃で広陵

ゴールに迫る場面が増える。42

分ここまでやや攻め込まれてい

た広陵だが、中盤でのルーズボ

ールを田中が奪いゴール前へD

Fと競り合いながら走り込む朝

光にスルーパスを送る。2点目

と思われたがGK青田が滑り込

んでキャッチする。残り10分と

なっても緑が丘の優勢は続く

が、広陵はDFラインが深めに

とり、シンプルな処理に徹す

る。24分緑が丘は小野が右サイ

ドのライン際から裏へ放り込

み、こぼれ球を豊田がシュート

するが惜しくも上にはずれず

る。ロスタイムに入っても、緑

が丘の猛攻は続くが、広陵のDF

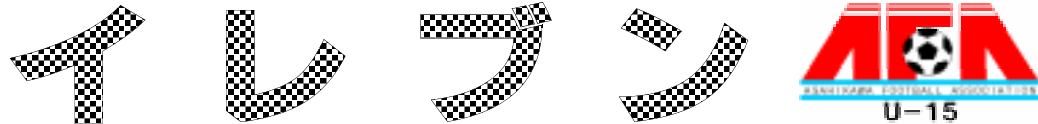
陣は体を張った守備で1点を死

守。1対0で勝利し、昨年度

の上川代表決定戦での雪辱を果

した好ゲームであった。





平成20年7月21日発行

## 広陵中、神楽中が準決勝に進む！ 上川支庁代表決定戦

平成20年度上川代表決定戦は7月16日、名寄健康の森グラウンドで開催しました。準々決勝の第1試合では旭川地区第1代表の広陵中が富良野地区代表の中富良野中と対戦。開始早々から攻撃的に出る広陵が優位に試合を進め、4分に大沼が先制点。その後も吉田のハットトリックなどで大量6点を奪い快勝しました。また、Bコートでは旭川第2代表の神楽中が土別地区代表の土別中と対戦。なかなか得点を奪えずに苦しんだ神楽ですが、18分に首藤がFKを直接決めて先制。後半にも石川が追加点をあげ、2対0で勝ち17日の準決勝へと駒を進めました。

### 準々決勝

#### 広陵6 - 0 (4 - 0) 中富良野

得点者 大沼(4分)、吉田(9分、27分、51分)、小野(13分)、富樫(50分)(広)  
広陵 GK喜多 DF水野、高橋、大沼、深川 MF伊藤翔、朝光、松岡、田中  
FW吉田、小野 交代/F P大野、富樫、伊藤大、奥山  
中富良野 GK工藤 DF大谷、石神、塩尻、鈴木 MF中田、前川、大西、松田、武島  
FW斎藤 交代/F P昼八、中川、橋立、西原

主審/氏家(道北協会) 副審/嵯峨(北門)、大西(附属) 第4審/宮川(永山南)

#### 【戦評/鈴木(愛宕)】

広陵と中富良野の第1試合。いつも通りの4・4・2の広陵に対し、4・5・1のフォーメーションで中盤に厚みをもたせる中富良野。開始早々から広陵が中富良野ゴールに迫る。1分小野がペナルティエリア付近から左足でシュート。ボールは惜しくもバーを直撃する。更にCKのを深川がフリーで合わせるがバーを越える。3分左サイドをオーバーラップした大沼が中ヘグラインダーで折り返すと、中でつめた伊藤翔が右隅へ先制点を決める。中富良野は中盤を省略し、前線の斎藤につなごうとするがボールの出所を読まれなかなか攻撃の形にならない。9分には左サイド朝光からニアサイドに走り込む吉田に合わせ2点目を奪う。広陵は左サイドのスペースを有効に使い、その後も猛攻に出る。13分、今度は左サイド中盤から吉田が右サイドを上げる伊藤翔へクロス。伊藤翔はワンドリブルでDFをずらし、小野へスルーパス。小野は落ち着いてゴールを決める。20分には右サイドでボールをインターセプトした小野とDF高橋、伊藤翔のコンビネーションからセンタリングが上がり、松岡が右足で強烈なシュートを放つが、これは中富良野GK工藤が片手で何とかはじいて防ぐ。しかし、27分には右サイド中盤で伊藤翔がボールをキープし、左からDFのウラについて走り込む吉田へ絶妙なスルーパス。吉田はワントラップしてシュート4点目をあげる。

4点リードの広陵は後半、前半よりもボールの周りがよくなり、再三チャンスを迎えるが、シュートの精度を欠き得点に結びつかない。35分中富良野は斎藤がペナルティエリア付近でくさびとなって、遠目からMF松田がシュートを放つが枠を外れる。39分にも斎藤にロングボールがつながり、ドリブルで突破を図るが、広陵守備陣の厳しいマークにあいシュートには至れない。後半ここまで得点のない広陵は、45分に投入された富樫が豊



富な運動量でチャンスを作るが、中富良野GK工藤の好セーブもあり追加点をなかなかあげられない。しかし、50分ペナルティエリア付近からMF田中が富樫へスルーパス。富樫がGKの逆についてゴール左隅へ5点目をあげる。直後の51分には松岡のスルーパスを吉田がワンドリブルし、つま先でシュート。これがGKを破って6点目をあげた。最後までゴールをねらった中富良野だが、堅い広陵守備陣を崩せず、広陵が快勝してベスト4へ進んだ。

#### 神楽2 - 0 (1 - 0) 土別

得点者 首藤(18分)、石川(44分)(神)

警告 寺林、東(神) 河江、太田、工藤(土)

神楽 GK田中館 DF寺林、小林、綿谷、上野 MF斎藤、首藤、石川、谷口

FW川上、小澤 交代/F P田畑、小川、東

土別 GK池田 DF太田、大河、佐久間、田中 MF工藤、河江、山本、三浦

FW佐藤、玉置 交代/近井、中尾

主審/西川(永山南) 副審/山本(聖園)、飛世(東明) 第4審/南向(春光台)

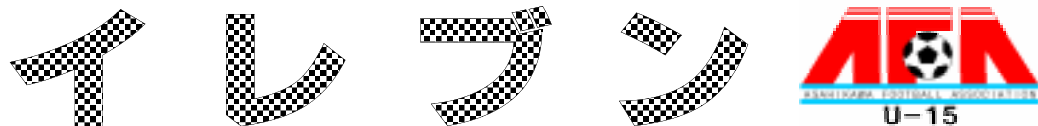
#### 【久世(六合)】

立ち上がり主導権を握りたい神楽は開始早々MF谷口のボールキープから左サイドでFKを得る。MF首藤が直接狙ったボールを土別GK池田がかろうじてパンチングで逃れる。その後も左サイドから上野のオーバーラップで攻め上がるが、土別DFのマークを振り切れぬ。序盤の神楽の攻撃をしのいだ土別は、FW玉置のフォアチェックに合わせて、全体が素早く押し上げてチャンスをうかがう。10分神楽DFのファウルで得たFKを土別FW佐藤がハーフウェイ付近から40mのロングシュートを放つが、神楽GK田中館がCKに逃れる。土別のプレッシャーに対し、神楽は首藤を中心に攻撃をしかける。17分神楽は首藤が土別DFラインのウラへスルーパス。これに反応した川上が走り込むがDFにカットされる。18分左サイドで得たFKを首藤がゴール左上にカーブをかけたシュートを直接たたき込み先制点を奪う。神楽は追加点をねらい猛攻をしかける。21分神楽は石川が右サイドからドリブルでDFラインのウラへ抜け出し、GKと1対1となりシュートを放つが土別GKが右手1本ではじき出す。22分には左サイドで谷口がDFからボールを奪いドリブルでもちあがりゴール前へセンタリングを送るが首藤はミートできない。26分には右サイドからのFKをゴール前で川上が競り合い、こぼれたボールを谷口がつかめるがオフサイドで追加点を奪えない。

後半も立ち上がりは土別の素早いプレッシャーに神楽は思ったようにパスが繋がらない。その隙に反撃したい土別だが、FWにボールが収まらず、時折工藤が鋭いドリブルで持ち上がるが、シュートまでには至らない。41分神楽は右サイドからのFKを土別DFがクリアミスする。GKははじいたボールを石川がペナルティエリア左で待つ川上にパスする。このパスを川上がフリーでシュートするがゴール上に外れる。追加点がとれない神楽であったが、44分石川が右サイドのフリーなスペースをドリブルで駆け上がり、土別DFを振り切りそのまま土別ゴールにシュートを突き刺す。勢いにのった神楽は首藤が鋭いドリブルで土別DF陣を振り切り、落としたボールを綿谷がミドルシュートを放つが枠を外す。51分には右サイドのFKを綿谷が左サイドから走り込んだ首藤に合わせ、ダイレクトシュートを狙うがゴールを奪えない。ロスタイムに入っても攻撃の手を緩めない神楽であったが、石川のシュートはポストにはじかれタイムアップ。神楽が準決勝に進出した。



開会式美深中小原主将の選手宣誓



平成20年7月21日発行

## 旭川市代表4校がベスト4に勢揃い！ 上川支庁代表決定戦

平成20年度上川代表決定戦は7月16日、名寄健康の森グラウンドで開催しました。準々決勝の第2試合では旭川地区第3代表の啓北中が名寄地区代表の美深中と対戦。開始早々から猛攻をかける啓北は1分に藤原、2分に笠原が得点。その後も攻撃の手を緩めず、山内がハットトリックの活躍。7対0の圧勝でベスト4に進みました。Aコートでは旭川第4代表の緑が丘中が中央地区代表の東神楽中と対戦。11分に宮下が先制した緑が丘はその後も着々と加点。猪川の2得点などで4対0を快勝。準決勝で広陵と対戦することが決まりました。

### 準々決勝

啓北7-0(3-0)美深

得点者 藤原(1分)、笠原(2分)、山内(28分、38分、57分)、酒井(59分)(啓)

警告 小原、波田野力(美)

啓北 GK永井 DF酒井、高橋峻、茂木、干場 MF藤村、保田、山内、西根

FW藤原、笠原 交代/GK重綱 FP斉藤、高橋拓、新井

美深 GK波田野力 DF山崎、本間、向井、五嶋 MF波田野遼、小原、笹尾、佐藤

FW三田地、佐々木

主審/五十嵐(道北協会) 副審/森(忠和)、佐藤(光陽) 第4審/高原(神居東)

【戦評/久世(六合)】

啓北のキックオフで始まった試合は開始早々啓北が得点を奪う。右サイドで美深DFからボールを奪ったMF藤村がゴール前ヘグラウンダーのパスを送る。美深DFがクリアしきれずに流れたボールをFW藤原が拾い、DFをかわして落ちて着いてシュートを決める。その直後、左サイドをMF山内が持ち上がり、ゴール前へ折り返したところにFW笠原がつめてゴールに流し込み2点目を決める。攻撃の手を緩めない啓北は9分、自陣からのロングフィードを笠原がファーストタッチでDFをかわし、ゴールに向かいGKと1対1になるが、シュートは右にそれる。中盤を幅広く動きボールを拾う山内を中心に攻撃をしかける啓北は笠原、藤原にボールが収まり始める。美深DFがFWに引きつけられて開いたサイドのスペースにDF酒井がオーバーラップをしかける。28分啓北は右CKを美深DFがクリアしきれないでこぼれたボールをペナルティエリア内で山内が拾い、ゴール左へシュートを突き刺し3点目を奪う。

後半啓北は酒井の攻撃参加から得点を重ねる。32分高橋峻が右サイドのスペースにロングフィードを送ると、オーバーラップした酒井がグラウンダーでセンタリングする。このボールを藤原が合わせて4点目をとる。続く38分センターライン付近でパスを受けた酒井



が美深プレーヤーを次々とかわし、右サイドを駆け上がって深くえぐり、ペナルティエリア内の山内へ丁寧なパスを出す。このボールを山内がシュートし、美深GK波田野力が一旦はじくが、再び山内がゴールに強烈に蹴りこむ。1点を返したい美深は時折、小原、佐々木がドリブルでしかけるが、中盤では啓北山内が、DFラインでは茂木に素速く寄せられ抜け出せない。47分啓北はMFに上がった酒井が自陣でボールを奪い美深DFラインの裏に走り込んだ山内へパス。このパスを受けた山内は美深DFを振り切り、GKの出鼻を落ちて着いてループシュートを決める。ロスタイムには酒井が右サイドからのパスをゴール正面で受けシュートを決め7点目を奪う。立ち上がりを抑えてカウンターを狙った美深だったが、動きの硬い直後に失点し最後まで反撃の糸口をつかめなかった。一方啓北は山内が豊富な運動量でゲームをコントロールし、次々と追加点を奪い大勝、準決勝に進んだ。

### 緑が丘4-0(2-0)東神楽

得点者 宮下(11分)、猪川(29分、31分)、小野(59分)(緑)

警告 朝日(東)

緑が丘 GK青田 DF千葉峻、中島、小野、太田 MF佐藤力、近江、猪川、田端

FW荒川翔、宮下

交代/GK林 FP荒川凌、渡部、永井、宮永、久保、千葉翔、相澤、豊田

東神楽 GK島津 DF山川、北村、中山、斉藤 MF東、安達、鳥毛、杉原、朝日

FW宮腰 交代/古市、倉橋、木村、蔵田

主審/矢吹(神居東) 副審/柴田(北星)、後藤(明星) 第4審/村上(永山)

【戦評/鈴木(愛宕)】

準決勝第2試合は旭川地区大会準決勝でベストメンバーが組めず第4代表に甘んじた緑が丘と中央地区を勝ち抜いた東神楽の対戦。開始早々緑が丘は右のスペースに走り込む宮下にフリーでつながり折り返すがわずかに合わず。4分にはペナルティエリア右のFKを小野が右足で直接狙うがGK島津が落ちて着いてキャッチする。東神楽も右サイド朝日からいいボールが中にはいるがシュートには至らず。10分頃から緑が丘は自陣で奪ったボールDFラインの裏に入れ、FW荒川翔、近江に合わせてチャンスを作り始める。11分混戦の中からこぼれ球を宮下が拾い、DF3人を前にしてコンパクトに足を振り抜きシュート。ボールはバーにあたりながらもゴールインする。1点ピハインドとなった東神楽だが、右サイド朝日からのいい展開が見られる。23分緑が丘は宮下の巧みなボールさばきから、前線の荒川翔へスルーパス。荒川翔は角度のないところから狙うが、惜しくもポストに当たりゴールインならず。26分東神楽は左サイドを杉原が判断良くスピードのあるドリブルで持ち上がり、宮腰へ折り返すが緑が丘DFのタイトなマークにあいシュートできず。29分東神楽ゴール前20mのFKの混戦から近江が横へはたき、猪川がGKの位置を見てループ気味のシュート。2点目をあげる。



後半も開始早々から緑が丘は個人技を生かして東神楽ゴールに迫る。31分宮下がエリア内を右ゴールライン際までもちこみ、マイナスに折り返したボールに猪川が走り込みながら右足で軽くカーブをかけ、GKの頭を越える技ありの3点目を決める。やや意気消沈した東神楽に対して、3点のリードで余裕の出た緑が丘は宮下がボールをさばき、多彩な攻撃を見せる。明日の試合をにらんでか、残り17分となった頃から大量に交代する緑が丘に対し、何とか1点を返したい東神楽だが、押し込まれた状況下でFW宮腰が孤立した状態となりつなぐことができない。またフレッシュな緑が丘の選手に対して、運動量でもおとり始める。劣勢の中、杉原が気迫のあるプレーでチャンスを狙う。56分、左サイドの杉原から宮腰に合わせフリーでヘディングシュートを放つが惜しくも上にはずす。ロスタイムに入り、宮永、久保の落ちて着いたボールまわしから最後は小野がねらいすましてシュート。駄目押しの4点目をあげ試合をものにした。